

令和元年度 国立山口徳地青少年自然の家 教育事業
「徳地アドベンチャー教育プログラム研修会」

開催要項

1. 趣 旨 「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)の体験を通して、その教育効果を体感するとともに理念や手法を理解する。
2. 主 催 国立山口徳地青少年自然の家
3. 後 援 山口県・広島県・島根県・福岡県教育委員会
4. 期 日 令和元年12月10日(火)～11日(水) 1泊2日
5. 会 場 国立山口徳地青少年自然の家
〒747-0342 山口県山口市徳地船路668
6. 講 師 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職等
7. 対 象 一般・大学生の方 先着20人
(例)
 - ・小・中・高等学校・専門学校等の教員、教員を志す学生
 - ・子ども会活動や学童保育・放課後子どもクラブ等、青少年教育に携わっている方
 - ・企業で新人研修等の研修を担当されている方
 - ・スポーツチームの指導者や、部活動の指導者
 - ・TAPに関心のある方等※ 本研修に参加及び修了した者は来年1月開催の「TAP指導者養成講習会」を受講することができます。
8. 参加費 3,100円(食事代・シーツ洗濯代・保険代・教材費)

9. 申し込み
 - ・Google Forms (右のQRコード)より申込
 - ※開催要項・チラシ・参加申込書は弊所HPからダウンロードが可能です。



- ・Formsより申込処理ができない場合は、参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは、メールで申してください。
- ・先着順(後日、こちらから参加決定通知をお送りいたします)

【締め切り】12月1日(日)12:00まで

10. 持ち物 野外活動に適した服装（長そで，長ズボン，長靴下），屋外で運動できる靴，着替え，帽子，カッパ（上下セパレートのもの），洗面用具，懐中電灯，水筒，筆記用具，健康保険証，常用薬（必要な方のみ），防寒着，防虫スプレー等

11. プログラム

(1) 日程

10日	10:00	10:30	12:00	13:00	17:30	19:00	21:00
	開講式 OR	セッション ①	昼食	セッション ②	夕食・入浴	セッション ③	情報交換会
11日	9:00		12:00	13:00	14:45	15:00	
	セッション ④		昼食	セッション ⑤	閉講式		

(2) 内容

- セッション①：参加者相互が和やかな関係をつくるための規範づくり。
- セッション②・④・⑤：以下のことを体験により体感する。
 - ・アイスブレイクやコミュニケーション，イニシアチブなどの様々なアクティビティ
 - ・ローエレメント，ハイエレメントの特徴や教育効果の違い
 - ・ふりかえりの効果
- セッション③：以下のことを講義により理解する。
 - ・TAPの考え方
 - ・活動の基本的な組み立て方
 - ・ファシリテーターの意味や役割等
 - ・ハイエレメント実施について

12. 送迎

	発車場所・時刻	東京方面	九州方面行
10日	新山口駅南口(8:20 発)	こだま 732 号(8:03 着)	こだま 723 号(8:17 着)
	上郷駅(8:20 着) 山口大学正門前(8:35 発) 山口県立大学前(9:05 発)		
11日	新山口駅南口(16:40 着)	こだま 750 号(16:52 発)	のぞみ 33 号(16:58 発)
	山口県立大学前(15:50 着) 山口大学正門前(16:10 着)		

※ 前後泊希望者は別途こちらから確認の連絡をさせていただきます。

13. その他

ご提出いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し，この事業に関する事務のみに使用し，法令等に定める場合を除き第三者に開示しません。本事業中に撮影した写真や制作物，感想文などを当機構の事業報告書や広報等に使用し，ホームページにも掲載することがありますので，ご了承ください。

～ 参考 ～

<お知らせ>

○徳地アドベンチャー教育プログラム指導者養成講習会 令和2年1月11日(土)～13日(月・祝)

○弊所には、TAPの外部講師として登録し、利用団体に指導に当たることができる制度があります。

今回の研修に参加、修了された方が上記の研修を修了された後、規定のOJTを受けていただくことが条件となります。

<TAPとは>

○「プロジェクトアドベンチャージャパン (PAJ)」が行っている「プロジェクトアドベンチャー」(PA)を基盤にしたグループワークプログラムです。

○チームワークの向上、協調性や自己肯定感の醸成の中で、個を成長させるプログラムです。

○1グループ(最大20名)につき1名のファシリテーターが指導にあたります。

○特に、「エレメント」と呼ばれる道具・設備を使った活動が特徴です。今回の研修でも一部使用します。

○TAPは、学校のみならずスポーツチームや企業でも活用されています。

○詳しくは、「プロジェクトアドベンチャージャパン (PAJ)」のホームページをご覧ください。

[プロジェクトアドベンチャージャパン](#)

[検索](#)

(1) 目的 (効果)

以下の目的を設定することができます。換言すれば、教育効果があるということです。

- ・協力 → 気持ちを合わせる、力を借りる、力を貸す
- ・コミュニケーション → 思いや考えを伝える、受けとめる
- ・自信 → 成功体験、失敗から学ぶ
- ・挑戦 → チャレンジすることの喜び、自分が知らない自分の発見 等

(2) 方法

① 「冒険(アドベンチャー)」の身体的な危機が迫ればやらざるをえない、切羽詰まった状態(非日常のドキドキ感)を活用します。

② 「体験学習」といい、体験から気づくことや学ぶことを中心とします(学ぶ者の主体性)。

③ 指導者の役割は、「ファシリテート」といって、「気づき」を促すことです。

④ 他の活動プログラムの指導にも、この手法を適用することができます。

例: 登山、キャンピング、野外炊飯、オリエンテーリング等

(3) 展開例

プログラムは、以下の活動により構成されています。

- ① 緊張を解きほぐす活動
- ② コミュニケーションを活性化する活動
- ③ グループで課題を解決する活動
- ④ 信頼感を高める活動
- ⑤ 目標設定や活動を振り返る話し合い